

第74回全国大会レポート

地域活性化委員会

委員 萩野一真

朝早く四日市を出発し、名古屋駅から新幹線で一路博多へ。博多駅周辺で昼食を取り、九州の味覚を楽しんだのち、レンタカーに乗り合わせて佐賀市へ。道中、穏やかな田園風景と青く広がる空が続き、これから始まる特別な一日の幕開けを感じさせました。集合時間の15時ごろSAGAアリーナへ到着すると、会場周辺は全国から集まった青年会議所メンバーで埋め尽くされ、熱気に満ちていました。すでに会場入りしているメンバーと合流し、15時30分開会の大会式典に参加しました。麻生太郎先輩をはじめ、歴代の日本青年会議所会頭、佐賀県知事、佐賀市長といったそううたる来賓が参列され、まさに全国大会の名にふさわしい雰囲気に包まれました。

大会式典では、日本青年会議所会頭の外口真大君によるスピーチや、2026年度日本青年会議所会頭予定者の加藤大将君が力強く抱負を語られました。さらに、日本JCシニアクラブ代表であり歴代会頭の麻生将豊先輩から、今年度卒業予定のメンバーへ日本シニアクラブ入会の案内があり、長く続くJCの歴史と伝統の重みを感じるひとときとなりました。18時20分から始まった卒業式では、会場の照明が落ち、華やかな演出の中でモーニング娘。OGの保田圭さん、矢口真里さん、飯窪春菜さんの3名によるライブパフォーマンスがサプライズで行われ、「LOVEマシーン」や「恋愛レボリューション21」をはじめとする全6曲が披露されました。青年会議所の中心世代である30代中盤のメンバーにとっては、懐かしさと感動が入り混じり最高の盛り上がりとなりました。続いて、全国各地の卒業メンバーが紹介されるとともに、卒業生を代表して日本青年会議所の副会頭である神畠浩子君から想いのこもった素晴らしいスピーチをしていただきました。

卒業式終了後は、レンタカーで再び博多へ戻り、「玄海の活魚と糸島直送の食 博多居酒屋 どげん海」にて四日市青年会議所メンバーによるLOMナイトを実施しました。お酒を交わしながら、全国大会の振り返りや卒業生との思い出話に花を咲かせながら、残り数か月となった本年度の活動もしっかりと活動していく決意を改める夜となりました。

今回の全国大会を通じて、青年会議所の持つ全国ネットワークの強さを実感するとともに、毎年たくさんリーダーを育成し輩出していることに驚かされました。青年会議所の活動は困難に直面することが多いですが、活動を継続することは、きっと自らの成長の糧になると改めて確信しました。

この全国大会で掲げられたテーマ「Plus Ultra～理想の先へ～」。その言葉を胸に、私たちは四日市の地で次なる挑戦へと歩みを進めます。

